

活動助成（2010年度募集）活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人検定協議会
活動テーマ	キッズ防災検定



目的・動機 阪神淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で、防災に関する知識を楽しみながら高め、災害時に的確に周囲の状況を判断し、行動できる力を身に付けることを目的としています。

防災について学ぶことで、災害が起きた時、自助、共助、公助が連携し、被害を少なくすることができます。そのためには、一人ひとりの防災意識を高めること、必要な知識を身に付けることが必要となってきます。また、阪神淡路大震災の経験を風化させず後世に伝えていく事も重要であります。そこで、小学生の子どもたちに、防災に関する知識を身に付け、意識を高めていくことを目的にキッズ防災検定を実施しています。

活動内容 兵庫県下の小学校にFAXで告知し、申し込みのあった各小学校で実施します。受験料は無料で認定証も発行します。問題は、低学年、中学年、高学年でそれぞれの学年にあった防災や災害時の対応について出題しています。

活動成果 阪神淡路大震災での経験・教訓をキッズ防災検定を通して子どもたちに伝え、防災に関する知識を身に付けることができます。2011年3月に起きた東日本大震災では、東北・関東に甚大な被害をもたらしました。また、近年発生の切迫性が指摘されている東海地震や南海地震、南関東地域地震では、予知に成功しても大きな被害が出るのが予想されています。さらに台風や大雨などの災害が毎年のように各地で発生し、被害が報告されている今、防災教育の価値・必要性は益々高まっていくと考えられます。キッズ防災検定をきっかけに、災害対策に必要なことが何であるかを知り、子どもたちに防災の知識と意識を定着させることや、震災で得た知識や経験を色あせることなく子どもたちへ受け継がれることが期待されます。